

平成30年度 幼稚園新規採用教員研修 実施要項

- 1 目的 新規採用教員に対して、教育公務員特例法に基づき、1年間の研修を実施し、幼稚園教諭として必要な実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。
- 2 対象者 幼稚園の新規採用教諭のうち、新規採用教員研修対象教員として指定された者
- 3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	実 施 会 場
1	4月20日(金) 14:00～17:00	<開講式> 大阪府の幼稚園教育 セルフマネジメント1 ー働くための基礎的スキルー 新規採用教員研修の受講に当たって [講義・演習]	大阪府教育センター
2	5月11日(金) 14:00～17:00	幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえた子ども理解 支援教育の視点を踏まえた子ども理解 [講義・協議]	大阪府教育センター
3	7月5日(木) 14:00～17:00	セルフマネジメント2 ーメンタルマネジメントー 指導案・指導計画の作成 [講義・演習]	大阪府教育センター
4	7月23日(月) 9:30～12:30	学級経営の在り方 ー先輩教員の実践に学ぶー 保護者理解と家庭との連携のために ーカウンセリングの理論と実際ー [講義・演習]	大阪府教育センター
5	7月30日(月) 9:30～12:30 または 14:00～17:00	リズム運動 これまでの実践を振り返る [実習・実践交流]	大阪府教育センター
6	8月2日(木) 10:00～13:00	人権について考える ー人権が尊重された教育について／大阪人権博物館の見学ー [講義・見学]	大阪人権博物館 リバティおおさか
7	10月25日(木) 14:00～17:00	児童虐待の現状と課題 食育と食物アレルギーへの対応 [講義・協議]	大阪府教育センター
8	2月27日(水) 14:00～17:00	子どもの安全と危機管理 セルフマネジメント3 ー学び続ける教職員であるためにー [講義・協議]	大阪府教育センター
9	市町村から 別途通知	市町村 実施研修 (小学校教育との円滑な接続)	市町村から別途通知

※ 第1～8回については、「平成30年度公立幼保連携型認定こども園新規採用教員研修」及び「平成30年度私立幼稚園新規採用教員研修」と共催。

※ 第5回は、2班編成。

4 会 場 (1)第1～5・7・8回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

J R 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

(2)第6回

大阪人権博物館（リバティおおさか）（大阪市浪速区浪速西3丁目6番36号）

J R 環状線「芦原橋」駅下車、南へ約600m

J R 環状線・大和路線「今宮」駅下車、西へ約800m

地下鉄御堂筋線・四ツ橋線「大国町」駅下車、西へ約1,200m

5 担 当 室 企画室

6 そ の 他

(1) 受付は30分前から。

(2) 印鑑を持参すること。

(3) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。

(4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと。

(5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと。

平成30年度 研修のシラバス

1. 研修名	幼稚園新規採用教員研修 (研修番号 1010)
2. 研修のねらい	新規採用教員に対して、教育公務員特例法に基づき、1年間の研修を実施し、幼稚園教諭として必要な実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。 「OSAKA教職スタンダード」該当項目：第1期

3. 研修課題とねらい等

※ **準備物** 第1回にて配付する「手引」は、第2回以降、毎回持参すること

回	研修課題	ねらい	準備物・事前課題
1	<開講式> 大阪府の幼稚園教育	大阪府の幼稚園教育の現状と課題及び幼児教育に関する国や府の動向について理解を深める。	準備物 幼稚園新規採用教員研修「実施要項・シラバス」
	セルフマネジメント1 ー働くための基礎的スキルー	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての自覚や責任をもち、人との信頼関係を築くための仕事をする上で必要なマナーを身に付ける。 ・情報伝達力、タイムマネジメント力、自己改善力向上のためにその内容と方法について理解を深める。 	
	新規採用教員研修の受講に当たって	新規採用教員研修の目的・意義について理解し、研修を受講する姿勢やマナーについて学ぶ。	
2	幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえた子ども理解	講義を通して、幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領の理解を深め、幼稚園・幼保連携型認定こども園教員に求められる子ども理解を深める。	事前課題 「幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読む。
	支援教育の視点を踏まえた子ども理解	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を通して、障がいに対する理解を深め、保育場面での環境構成等ユニバーサルデザインに基づく効果的な支援の在り方について学ぶ。 ・支援教育の視点から保育現場での子どもの困り感について具体的に考え、幼児理解や支援の方法等について理解を深める。 	
3	セルフマネジメント2 ーメンタルマネジメントー	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルマネジメントの考え方を理解するとともに、セルフマネジメントが職務における自身の目標の達成に重要であることに気付く。 ・メンタルヘルスケアの内容について知り、メンタルヘルスを適切に保つための具体的方法を考える。 	
	指導案・指導計画の作成	幼児の実態に応じた指導案・指導計画の作成について学び、適切な指導や評価のあり方について考える。	
4	学級経営の在り方 ー先輩教員の実践に学ぶー	先輩教員から実践について学び、幼児の成長につながる保育について考察する。	
	保護者理解と家庭との連携のために ーカウンセリングの理論と実際ー	保護者理解を深め、家庭との一層の連携を図るため、カウンセリングマインドの基本的な態度と方法について学ぶ。	

5	リズム運動	リズム運動の基礎的な知識を学ぶとともに、幼児の実態に応じた指導法を身に付ける。	体操服 体育館シューズ
	これまでの実践を振り返る	これまでの実践をまとめることにより、自己の取組みを振り返る。さらに情報交換と協議を通して、当面する課題等について解決策を探る	
6	人権について考える 一人権が尊重された教育について／大阪人権博物館の見学一	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を通して、人権教育について理解を深め、様々な人権課題があることを理解し、自分とのかかわりについて考える。 ・子ども理解に基づく集団づくり等、子どもの人権を尊重した保育を行うことの重要性について認識を深める。 ・大阪人権博物館（リバティおおさか）の施設見学を通して、同和問題をはじめとした様々な人権課題について認識を深め、課題の解決に向けての意欲を高める。 ・研修全体を通じて学んだことをもとに、今後の具体的な人権教育の取組みについて考える。 	事前課題 「教職員人権研修 ハンドブック Q12, 20～24, 34 を 読む ⇒ ダウンロード
7	児童虐待の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の現状や具体的な課題について知り、関係機関との連携の方法について学ぶ。 ・事例等を交えた講義を通して、虐待の気付きと初期対応のプロセスについて理解を深める。 	
	食育と食物アレルギーへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対応の基本的な考え方を学び、具体的な方策や緊急時の対応・判断ができる力を高める。 ・幼児期の食育の意義について理解を深め、ヒヤリハット事例について考える。 	
8	子どもの安全と危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理の意義について学び、園における安全について、防止、対応、教育の各観点から具体的な実践方法を考える。 ・事故防止、避難訓練、非常時対応など具体的な実践を通して危機管理意識を高める。 	
	セルフマネジメント3 一学び続ける教職員であるために一 <閉講式>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の自身の変容について振り返ることを通して、自己改善力を高める。 ・教職2年目に向けての自覚と使命感を高める。 	
9	市町村 実施研修	小学校教育との円滑な接続について考え、子どもの学びにつながる幼小連携等について学ぶ。	市町村より別途通知